

観光英語(4)：重要文化財の天守を有する丸岡城の案内板の英語

福島 一人

Tourism English (4): The English Found on Signs in the Maruoka Castle Complex Containing the Castle Keep Designated an Important Cultural Property by The Ministry of Education, Culture, Sports, Science & Technology

Kazundo Fukushima

Abstract

Of the English on signs found in the eight castle complexes containing castle keeps designated important cultural properties, the English in the Bicchu Matsuyama, Marugame, Kouchi, and Hiroasaki castles was examined, and added actively if there were no English signs or explanations in Fukushima (2012. 7).

This paper will examine the English in the Maruoka castle. It will also add English more actively if there are no English signs or explanations.

It will also be shown that in general there are fewer English signs and explanation than in the castles containing castle keeps designated national treasures. As to the classification of the English signs, that in Fukushima (2012.7) will be followed.

1. はじめに

本稿は、福島(2012.7)に準じ、事例報告として、重要文化財に指定された天守を有する丸岡城の英語案内板を検討する。

まず、ごく一般的な Wikipedia の記述を概観する。一般的な城郭の事物の用語も検討する。当該城郭の規模も考慮し、全体の記述量から一般の関心度や集客数が推測されるであろう。

次に、現地の案内板について検討する。日本語のものにせよ、英語のものにせよ、案内板の数は Wikipedia の記述量と同様、一般の関心度や集客数とある程度平行すると推測される。英語案内板が存在する場合、文法的誤りの有無、併記されている日本語の案内板との量的、意味的矛盾の有無を検討する。案内板は、一般的なものの、一般的な城郭のもの、当該城郭に特有なものに分類する。

重要文化財も国宝と同様、その維持管理には国が費用の一部を負担している。また、日本政府が外国からの観光客誘致を重視しており、英語が「国際語」になっている現在、特に英語案内板については量的、質的にもこれまで以上に充実させる必要があるであろう。本稿はこのことを強調するものである。

尚、本稿で使用している写真は Wikipedia からの引用に挿入したのもも含めすべて、本稿執筆者

が撮影したものである。案内板の写真の文字が判読困難な場合が存在する。興味をもたれたものについては、読者ご自身が現地でご確認いただきたい。

2. Wikipedia における丸岡城の記述

Wikipedia における、城郭の位置、城郭特有な英語についての記述の有無を確認する。



Maruoka Castle (丸岡城, *Maruoka-jō*^[1]), is a [Japanese castle](#), located in [Maruoka, Fukui](#), and famous for its *donjon* (tenshu), the oldest in Japan^[1]. Built in 1576 by order of [Shibata Katsutoyo](#), only the central tower (*tenshu*) remains; the grounds are used by the local populace for festivals such as [hanami](#) and traditional parades. The castle is also known as *Kasumi-ga-jō* (*Mist Castle*) (霞ヶ城, *Kasumiga-jō*^[2]) due to the legend that whenever an enemy approaches the castle, a thick mist appears and hides it^[2]. (以上

Wikipedia より 2011.9.28 参照)

宇和島城と共に、他の重要文化財天守を有する 6 城郭と比較して記述量が少ない。重要文化財でありながら一般の関心度は低いと言えよう。

概略、丸岡城は霞が城とも呼ばれ、福井県丸岡に位置し、日本最古の天守のみが現存し、花見の時などに地元の人々が集まる、としている。

「天守」を“donjon”、“central tower”としている。

重要文化財に指定されていること、天守内部の日本一急傾斜の階段、一般に見られる瓦ではなく自然石を刻んで作成した瓦、「一筆啓上」の碑、「人柱」にまつわる怨念話など記述に値するものは存在すると思われる。

3 現地の案内板

交通が不便、規模が小さいということで、案内板が少ないと予測される。これは、Wikipedia の記述量が少ないこととも平行している。2011 年 6 月と 2012 年 8 月に調査を行った。2012 年の調査では、英語の案内板の数は極めて少ないが、日本語案内板の数は増加していた。

3.1 一般的な案内板

一般的な案内板については、単に標識のみ、あるいは、日本語の案内板しか存在しなかった。しかし、2012 年には、日本語案内板の数は増加していた。

1 の案内板には、“Important Cultural Property”、“Maruoka Castle”、“Completed in 1576”、“No Flammable Objects” という英語説明も加えるべきである。

2 の標識は「禁煙」の意味ではなく、「火気厳禁」であろうが、当該日本語説明の他に “No Flammable Objects” を加えるべきである。

3 は「立ち入り禁止」の意味であろうが、当該日本語説明の外に “Keep Out” を加えるべきである。



これは、標識のみで意味は明示的であると思われるが、他の城郭の例に従うべきと思われる。

他の天守内部に存在する、「禁煙」、「飲食禁止」、「落書き禁止」などが丸岡城天守には存在しない。“No Smoking”、“No Eating or Drinking”、No Scribbling “を設置することを提案する。



4は天守外部に存在した、「焚き火禁止」、「禁煙」、「火気厳禁」の案内板である。“No Open Flame”、“No Smoking”、“No Flammable Objects”を加えるべきである。5は2011年時の調査では存在しなかった案内板である。

「上り」「下り」の英語説明は不要と思われるが、「左側通行」に相当する“Keep Left”を加えるべきであろう。

6も同様に、「左側通行」、「Keep Left」を加えるだけでよからう。つまり、5の「上り」、「下り」に相当する英語説明は不要と思われる。

5、6共に、2011年6月に訪問したときには存在していなかった案内板である。2012年8月には存在していた。

7は天守入り口に存在していた。これも、去年は存在していなかった。“No Footwear”を加えるべきである。8も去年は存在していなかったが、右側の案内板は「靴箱に入っていたスリッパを



靴箱に戻してください」の意味であろう。“NOTICE Please return the slippers to the shoebox.”、左側については、“NOTICE We cannot be held responsible for any accidents that may happen to visitors.” という英語説明を加えるべきである。



9、10のように丸岡城天守の階段は現存12天守の中で最も急傾斜である。8の左側の案内板の存在は階段を落下する危険性を第一のものと考えた結果と思われる。

階段の上り始めの9では「階段が急な為、上り下りには、充分ご注意ください」という日本語案内板が存在する。“Very Steep Steps Please take good care in going up and down.”のような英語説明を加えるべきである。また、10のように手すりかロープに？まるかしないと、到底上り下りは危険であるので、“Please hold on to the railing or the rope for your safety.”を加えた方が良くもしいない。尚、昨年、ロープは1本であったが、今年は11のように、2本存在していた。5、6のように「左側通行」を掲げているためであろう。これは丸岡城の集客数が増加したことを意味するのか、あるいは、集客数の増加を願ってのためとも考えられる。

12は天主最上階の外側の回廊[回り縁]に出ることを禁じる警告の案内板である。13のように回廊の床が老朽化しており、踏み抜く危険性があるからである。12の日本語案内板では、「お願いしたいへん危険ですので外へ出ないようにお願いいたします」としている。日本語より強い口調になるが、命にも関わることなので、“DANGER Do not step outside [Do not step onto the gallery]”を加えるべきである。



14は「丸岡城及び歴史民族資料館入場料金」の案内板である。“Admission Fee to Maruoka Castle and Folklore Museum”という英語説明を加えるべきである。「大人」、「小人」には“Adults”、“Children”、

14

丸岡城及び歴史民俗資料館入場料金

	大人	小人
個人	300円	150円
30名以上の 団体様1名につき	240円	120円
100名以上の 団体様1名につき	180円	90円

大人は高校生以上・小人は小学生より中学生まで

「個人」には“Individual”、「30名以上の団体様1名につき」には“30 or more (per person)”、「100名以上の団体様1名につき」には“100 or more (per person)”という英語説明を加えるべきである。また、「大人は高校生以上・小人は小学生より中学生まで」には“Adults : High-school student and older Children : Elementary & Junior high school student”のような英語説明を加えるべきである。

14の近くに「入城する人は入場券をお求め下さい 入場券売り場」という日本語案内板が存在していたが、これにも“A ticket is required for admission. Tickets are sold here.”のような英語説明を加えるべきである。

15は「観覧時間」を表す案内板である。“Operating Hours”、“Business Hours”や“Hours of Operation”などとし、“From 8 : 30 am to 5: 00 pm”とし、“Last Admittance 4 : 45 pm”や“Please enter before 4: 45 pm”のような英語説明を加えるべきである。

15



「個人」には“Individual”、「30名以上の団体様1名につき」には“30 or more (per person)”、「100名以上の団体様1名につき」には“100 or more (per person)”という英語説明を加えるべきである。

3. 2 城郭の一般的事物の案内板

16



16は現存12天主の中で最古のものであると言われる丸岡城の天主である。美しい木目の威風堂々とした天守である。建築物としては、天守のみが現存している。17は丸岡城天主の近くに存在していた石製の日本語案内板である。英語案内板は存在しなかった。



以下のような英語案内板を併設することを提案する。

The Castle Keep of Maruoka Castle (Also Known as Kasumiga Castle) (Important Cultural Property)

In 1575, Oda Nobunaga captured Hougenji temple (about 4 kilometers to the east of this site) in order to defend against the potential uprisings of Ikkou sect followers. Nobunaga ordered Shibata Katsutoyo, the nephew of Shibata Katsuei, to build a castle in Toyohara.

In 1576, Katsutoyo moved the Toyohara Castle to Maruoka, which is now known as Maruoka Castle. After Shibata Katsutoyo, the Yasui, Aoyama, and Imamura clans ruled the castle temporarily. Following them, Honda Narishige and his three successors inhabited the castle. Then Arima Kiyozumi became the lord of Maruoka Castle in 1695, his seven successors ruled the castle until the Meiji Restoration.

After the return of the han [domain] registers to the Meiji Emperor in 1870, the castle was owned by the government, and then was privately-owned. And finally it was owned by Maruoka town. During that period moats of the castle were filled in, and some structures such as gates, samurai residences, etc. were sold or transferred to individuals. Only the castle tower and a short section of stone wall still remain.

The castle tower was designated a national treasure in 1934, and collapsed in the Fukui Great Earthquake in 1948. It was demoted to the status of an important cultural property in 1950. The restoration work began in 1951, and was completed in 1955. About 80 percent of building materials used was aged wood.

The castle tower is a three-story, two-roof structure. The first story supports the second story. Each story has its own independent pillars, so there are no common pillars. Roof tiles are made of light natural stone. The third floor serves as a watchtower. The stone wall of the foundation is formed by natural stones piled up without careful placement being considered for each stone.

Among existing Japanese castle towers this style of construction is the oldest.

Height : 22meters

Dimension

First Story : 137m²

Second Story : 40m²

Third Story : 40m²

The Number of Roof Tiles : About 6,000

Their Total Weight : 75 tons



18では、中央の出っ張った部分の「石落し」、左右に四角い穴の「狭間（さま）」が見られる。前出の3の画像は「石落し」を内部から見たものである。19は「石落し」の、20は「狭間」の日本語案内板である。それぞれの英語案内板はやはり存在しない。福島（2012.7）p.20に合わせ、英語説明を日本語説明より簡略化し、次のような英語案内板を併設することを提案する。「石落し」については、“Ishiotoshi (Stone Throwing Hole) This was a device for throwing stones on enemies who were scaling the stone wall.”、「狭間」については、“Sama (Porthole) This was a device through which defenders shot arrows or fired guns at enemies.”である。

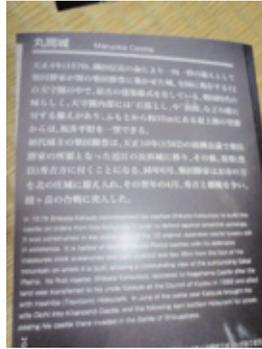
3. 3 当該城郭特有な事物の案内板

21は天主が存在する本丸の中ではなく、登城口付近の「一筆啓上茶屋」というレストラン兼土産物屋の脇に存在していた案内板である。丸岡城という表題で、英語説明も存在する唯一の案内板である。22は21の「丸岡城」の部分だけをトリミングしたもの¹⁾、23は英語説明の部分のみをトリミングしたものである。23の英語説明は内容面、文体面共に、日本語説明とほぼ一致している。しかし文法的な誤りが見られる。4行目の“*It is typical of Warring States Period castles with its defensive measures...*”は“*It is typical of the Warring States Period castles with their defensive measures...*”とす

21



22



るべきである。

24 は、丸岡城付近ではなく、4 キロ離れた JR 丸岡駅外に存在していた「丸岡城」の案内板である。最古の天守、重要文化財、桜の季節の日本語、英語説明も入っており、短いながら非常に濃縮されている。単に歴史の変遷を示す 21 より外国人には興味深い記述

であろう。ただし、アメリカ英語が主たる今日からすれば、“...as tourists can enjoy...” は “...because tourists can enjoy...” とした方が良いかもしれない。

23



24



25 は丸岡城に特徴的な石製の屋根瓦の画像である。使用されている石は一般の石より軽量と言われているが、陳列されていた石を手にとってみると、やはり重量はかなりのある。福井の厳しい寒さに対応するためと言われる。天守最上階内部の屋根が見えるところに「石製の屋根瓦」“Roof tiles made of natural stone” という案内板を設置するべきである。

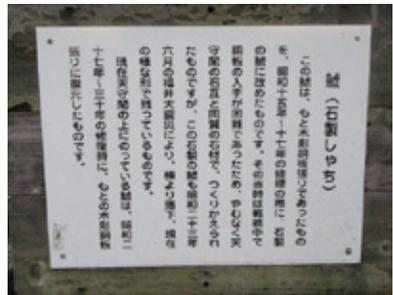
「石製の屋根瓦」“Roof tiles made of natural stone” という案内板を設置するべきである。

27

25



26



26は屋根瓦と同じ種類の石製の「鯨（しゃち）」であり、その日本語説明が27でされている。以下のような英語説明も併設することを提案する。

Shachi (Dolphin or Fabulous Dolphin-like Fish) Made of Stone

These dolphins, which were originally carved from wood and had copper plates attached on the surfaces, were remade of stones when the castle keep was repaired during the wartime period of 1940 – 1942. During wartime copper plating was difficult to procure, so the dolphins were constructed of the same kind of stone as that of the roof of the keep. But these stone dolphins fell from the roof in the Fukui Great Earthquake in 1948.

The present dolphins on the roof, made in the original style, of carved wood with attached copper plates were restored when the keep was repaired during the period of 1952 ? 1955.

28



29



28は丸岡城にまつわる怨念伝説の「お静」の慰霊碑であり、29はその日本語案内板である。以下のような英語案内板を併設することを提案する。「血の涙」は意識してある。

以下のよう

Legend “ O-shizu, Hitobashira (Human Sacrifice)”

When Shibata Katsutoyo, the nephew of Shibata Katsue, was building a castle in Maruoka, the stone wall of the castle keep collapsed no matter how many times it was piled up. There was one vassal who suggested that they should make someone a human sacrifice called “ Hitobashira ” in Japanese.

O-shizu, a one-eyed woman who had two children and lived a poor life, was selected as the “ Hitobashira .” She resolved to become one on the condition that one of her children be made a samurai.

She was buried under the central pillar of the castle keep. Soon after that the construction of the castle keep was successfully completed. But Katsutoyo was transferred to another province, and her son was not made a samurai.

Her spirit felt resentful, and made the moat overflow with spring rain when the season cutting algae came in April every year. People called the rain “ the rain caused by the tears of O-shizu’s sorrow,” and erected a small tomb to soothe her spirit.

There was a poem handed down.

“ The rain which falls when the season of cutting algae comes Is the rain reminiscent of the tears of the



poor O-shizu's sorrow”

30は丸岡城で有名な「一筆啓上」の碑である。武将が家族に宛てた日本一短い手紙と言われている。

「一筆啓上 火の用心 お仙泣かすな 馬肥やせ」とある。これに相当する次のような英語案内板を設置することを提案する。「馬肥やせ」は「馬の世話をしろ[馬を大事にしろ]」と解釈した。

“Just a short note to tell you. Watch out for fire. Don't make lady O-sen cry. Take care of the horses.”

4. まとめ

当初、日本語案内板や説明（「日本語案内板」と一括する。）に平行する英語案内板や説明（「英語案内板」と一括する。）の比較検討を行うつもりであったが、丸岡城を訪問したら、英語案内板は存在しなかった。唯一存在したのも城郭の外のレストラン兼土産物店の脇のものであった。つまり、城郭内部には存在しなかったのである。

一方、日本語案内板の数は多く、そして、ほとんどが天主内部に存在していた。丸岡城の天主の規模から鑑みると、その数は現存天主の中では最高に近いと言える。特に、一般的案内板の数が多いと言える。2. 1で述べたが、2011年6月に訪問した時より、今年2012年8月には増加していた。日本人観光客が増加したためか、それとも、増加させることを狙ってのためかはわからないが、当局の丸岡城観光に対する積極的な姿勢が窺える。この姿勢をさらに外国人観光客に対しても向けることを願う。

本稿は、日本語案内板すべてに平行する英語案内板の例を挙げ、それらを現在の日本語案内板に加えることを提案した。

本稿執筆にあたり、執筆者が提案した案内板の英語等についてネイティブチェックをお引き受けいただくなど、宝塚大学非常勤講師のDavid Martin氏²⁾にお世話になった。深く感謝したい。

註

- 1) 長岡技術科学大学村山康雄氏より寄贈。
- 2) 氏は日本語に堪能であり、『サラ川グリッシュ』（講談社、2008）、『英語で味わう日本の文学』（東京堂、2010）などの執筆に関わっている。

参考文献

Collick R.M.V、日南田一男、田辺宗一編（1995）『新和英中辞典』第4版、東京：研究社
福島一人（2011.1）「観光英語（1）：「国宝天守をもつ松本城の案内板の英語」『情報研究』第44号、

茅ヶ崎：文教大学情報学部

——(2011.7)「観光英語(2):「国宝天守をもつ、松本城案内板の英語と比較した姫路城、彦根城、犬山城の案内板の英語」『情報研究』第45号、茅ヶ崎：文教大学情報学部

——(2012.7)「観光英語(3):「重要文化財の天守を有する備中松山城、丸亀城、高知城、弘前城の案内板の英語」『情報研究』第47号、茅ヶ崎：文教大学情報学部

花本金吾、野村恵造他編(2003)『旺文社レクシス英和辞典』東京：旺文社

市川繁治郎(1989)『新和英中辞典』第3版、東京：研究社

インターナショナル・インターンシップ・プログラムズ(2008)『日本まるごと事典』第2版、東京：講談社インターナショナル

石井隆之(2009)『日本の都道府県の知識と英語を身につける』東京：ベレ書房

キノシタ・ジュン、バレフスキー・ニコラス(2004)『最新改訂版 日本旅行ガイド』東京：講談社

小西友七、南出康也編(2007)『ジーニアス英和辞典』第4版、東京：大修館

ライシャワー・エドウィン、加藤一郎他監修(1993)『カラーペディア 英文日本大事典』東京：講談社

篠田義明(1989)『アメリカ英語最新ビジュアル辞典』東京：研究社

宝島社編(2009)『日本の名城現存十二天守 [DVD-BOX]』東京：宝島社

植田一三、植田敏子(2009)『英語で説明する日本の文化』東京：語研

渡邊敏郎他編(2003)『新和英大辞典』第5版、東京：研究社

Wikipedia, the free encyclopedia. "Maruoka Castle." Retrieved September 28, 2011, from <http://en.wikipedia.org/wiki/Main-Page>

